



デザイン/ナガイマサミ

☆使用材料

ハマナカティノ (25g 玉巻)

使用色	使用量
白 (No.1)	2g
黒 (No.15)	1g

ハマナカアクレヌ (15g パック)

使用色	使用量
白 (H440-001-101)	35cm

ソリッドアイ 6mm黒 (H221-306-1) 2個
フェルト 黒2×4cm、ピンク1.5×2.5cm

☆用意するもの

くるくるポポンミニセット (H204-570)、毛糸とじ針 (H250-706)、クラフトハサミ (H420-001)、手芸用クラフトボンド (H464-003)。



H204-570
くるくるポポン
ミニセット

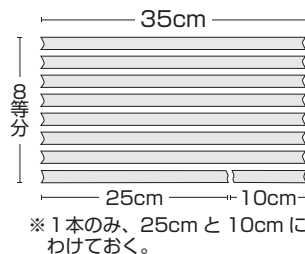
- 下準備
- アクレヌは指定量に取り分けておきます。さき方は、別紙「アクレヌポポンの基礎」を参照。
 - ポンポンの基本的な作り方は、くるくるポポン同梱の「ポポンの作り方」を参照。
 - 結び糸は、ティノ (白) を2本どりを約50cm用意します。

- 作り方
- 【1】ポポン器 (5.5cm) に、ティノとアクレヌを指定回数巻き、顔のポポンを作ります。
 - 【2】耳と目を顔につけて仕上げます。

実物大写真



アクレヌ取り分け図



5.5cm

作り方

ポポンの作り方 <顔>

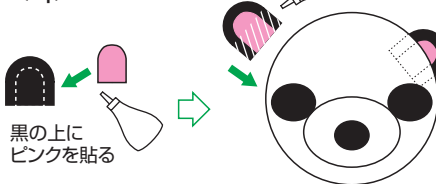
- 1** 黒 2本どり 8回
 - 2** 白 2本どり 60回
 - 3** アクレヌ白 1/8(25cm) を1本、アクレヌ白 1/8(10cm) を1本
 - 4** 黒 2本どり 30回
 - 5** アクレヌ白 1/8を3本
 - 6** 反対側 アクレヌ白 1/8を4本
- 別紙参照 アクレヌポポン基本の作り方
- ポポン器(5.5cm)の片側に、黒を2本どりで8回巻きます。
- 【1】の上に、白を2本どりで60回巻きます。
- 【2】の両側に、下準備で分けた白のうち、25cm1本と10cm1本を巻きます。
- 【3】の上に、黒を2本どりで30回巻きます。
- 【4】の上に、白3本を全体が均一の半円になるように巻きます。
- 反対側は、白4本を全体が均一の半円になるように巻きます。

ポポンの仕上げ方

- フェルト実物大型紙
- 耳(2枚) 耳内側(2枚)
- 黒 1.5cm 1.5cm
- ピンク 1.2cm 0.9cm
- 1** 両側を巻き終わったら、ストッパーで固定し、ハサミでカットします。
 - 2** 結び糸50cmを用意し、結びます。ポポン器を外します。
 - 3** 実物大写真を参考にしながら、丸くカットして整えます。

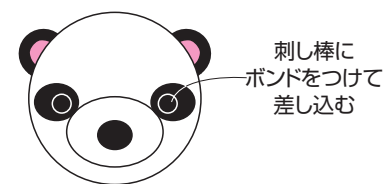
パーツのつけ方

<耳>



フェルト(黒・ピンク)で耳を作り、頭に差し込み、ボンドで固定します。

<目>



目の位置にソリッドアイ6mmを差し込み、ボンドで固定します。

羊毛ボンボン & アクレーヌボンボンとは？

羊毛またはアクレーヌで作るボンボンです。ふわふわで植毛をしたようなボンボンが作れます。ニードルを使用すれば、幅広い作品作りが楽しめます。

- Point 1 太い羊毛のふさを使うので早く巻けます
- Point 2 羊毛ならではのふわふわでリアルな仕上がり
- Point 3 ニードルで刺し固めやすささまざまなアレンジができます

くるくるボンボンの種類

表記の使用量は目安です。オリジナル作品を作る際の参考にしてください。

おすすめの材料と使用量の目安

キットは作り方テキストに従ってください。

おすすめの材料	くるくるボンボンの種類	直径3.5cm (グリーン)	直径5.5cm (ピンク)	直径7cm (ブルー)	直径9cm (オレンジ)
フェルト羊毛 ソリッド		約15cm	約50cm	約60cm	約120cm
フェルト羊毛 ナチュラルブレンド		約15cm	約50cm	約80cm	約150cm
アクレーヌ®		約10cm	約30cm	約50cm	約100cm

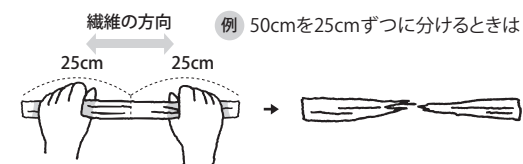
上記以外に必要なもの

- はさみ ●定規またはメジャー ●糸
 - ニードルを使う場合
 - フェルティング用ニードル ●フェルティング用マット
- ※先の尖った良く切れるはさみをご使用ください。 ※糸はレース糸(20番手)がおすすめです。
- ※作品ごとに必要な副資材等は作品のテキストをご覧ください。

羊毛・アクレーヌの取り分け方

分け方 繊維を断断して取り分けるとき

図のように分ける位置を中心として、ゆっくり引き抜くように分けます。



分け方 繊維の方向にそって取り分けるとき

図のように分け目にしたところに指を差し込み、繊維の方向にそってさきます。

例 1/2にさくときは



キットの場合 正確な量に取り分けるため、下記の方法で分けます。

- 繊維を断断して取り分けるとき → ハサミ
 - 繊維の方向に沿って取り分けるとき → 手
- ※切り口は繊維を指でつまんで出しほぐしてください。

フェルティングニードルの使用上のご注意

フェルティングニードルは先端の鋭い専用針です。使用上のご注意を必ずお読みください。

- 一度曲がったニードルは大変折れやすくなっています。無理に使用しないでください。
- 無理な力を加えると先端が折れる場合があります。針先をひねらないように作業をしてください。また、折れた場合の飛散防止になりますので、フェルティング用マットは必ず使用してください。
- ニードルの先端は大変鋭く、作業中は手をきちんと安定させ気を散らさないよう集中してください。くれぐれも手などを刺さないように十分に気をつけて作業してください。
- 指の保護の為、別売の「フェルティングニードル専用指サック」のご使用をお勧めします。

対象年齢 15才以上 ニードルは先端の鋭い専用針です。お子様が作業される場合は、保護者の方が必ずそばに付き添ってください。

- 使用後は、キャップを付け、お子様の手の届かないところに保管してください。
- フェルティング以外の用途には絶対使用しないでください。針先は人に向けてたりせず常に作業物に向けてください。
- ニードルで作った作品は繊細ですので取り扱いには注意しましょう。また、小さなお子様は誤飲の恐れなどがありますので、特にご注意ください。

作業中に作品の中で先端が折れた場合、そのままにしておくと大変危険です。必ず取り出してからご使用ください。

羊毛ボンボン & アクレーヌボンボン 基本の作り方

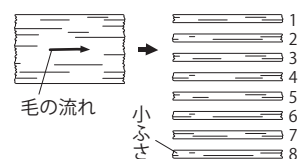
基本の手順

- 下準備 → STEP 1 羊毛またはアクレーヌを巻きます → STEP 2 カットします → STEP 3 結びます → STEP 4 形を整えます

下準備

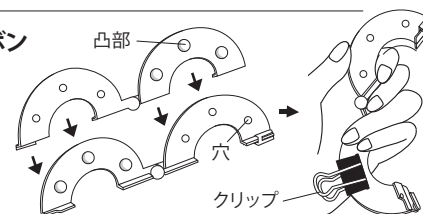
●羊毛またはアクレーヌ

必要量の羊毛を取り分け、1ふさを8等分にさきます。この1/8ふさ(以下「小ふさ」)をくるくるボンボンに巻きつけるときの基本の太さとして。



●くるくるボンボン

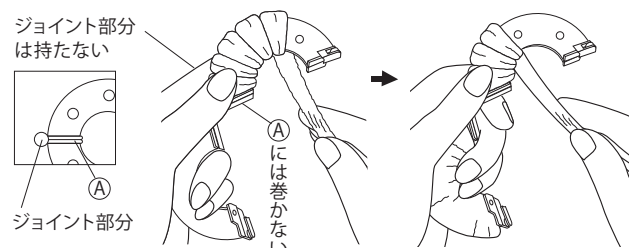
凸部と穴を合わせ、片方の半円をクリップなどで固定します。



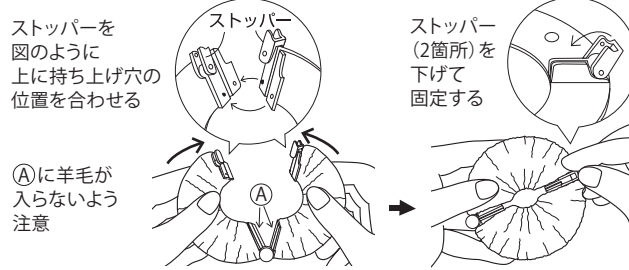
STEP 1

羊毛またはアクレーヌを巻きます。

①半円の端から羊毛を巻きます。半円が巻けたらもう片方の半円も同様にします。



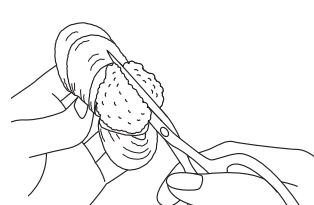
②ボンボン器を円形になるようストッパーで固定します。



STEP 2

カットします。

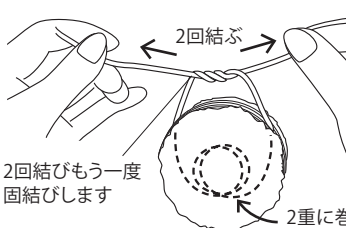
ストッパー部分からボンボン器2枚の間にはさみを入れ、羊毛をカットします。



STEP 3

結びます。

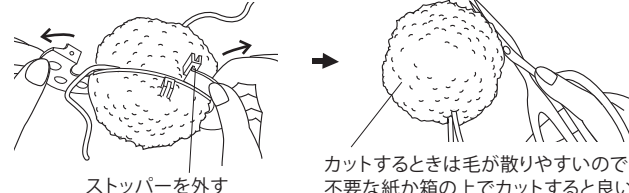
ボンボン器2枚の間に糸を2重に巻き、しっかり結びます。



STEP 4

形を整えます。

ボンボン器を外して、手で軽く整え全体をカットし仕上げます。



■きれいに巻くコツ

しっかり巻き、均一な厚みに

- しっかり巻き始めます。巻き始めが緩いと、全体が緩みやすくなります。
- 隣につめていくように巻きます。小ふさを1本ずつ巻き、巻き終わりはニードルで刺して軽く固定します。続いて次の小ふさを巻き足していきます。
- 端まできっちり詰めて巻きます。端まで詰めて巻くことで、仕上がり時の毛の密度が揃います。
- 端まで巻き終わったら、上に巻き重ねていきます。できるだけ全体が均一な厚みになるよう巻きましょう(※色替えなどで特に厚みに指定がある場合は除く)。羊毛が少なくなってきたら、ふさを薄く広げるなど、厚みのバランスを見ながら巻きます。

巻きすぎると、ストッパーがはまりにくく、器具を傷める場合がありますので、ご注意ください。 ※巻ききれない場合は、無理に巻かず余らせてよい

■色分けのコツ

色の境目をきれいに

- 色ごとに巻きます。色ごとにしっかり巻きつけます。色の境目が混ざりそうなときは、ニードルで刺して整えます。
- 2色以上のときは、巻き面積が小さい色から巻きます。

■きれいに整えるコツ

少しずつ丁寧に

- 丸く仕上げるときは 全体を軽く手で丸めたあと、少しずつカットします。
- 段ができたときは はさみを縦に入れ、刃先を使ってすくようにカットすると目立ちにくくなります。複雑な形にカットする時も同様に、少しずつカットします。

■ニードルで整えるコツ (完成した丸のボンボンからニードルで形を作るとき)

- バランスを見ながらやさしく刺す 羊毛は放射状にふんわり植毛したような状態です。一度に強く刺すと、すぐにくぼんでしまうので、作りたい形になるよう徐々に刺し整えます。